

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 28 日

評価対象事業	評価者	市民健康課長	石黒 知美
健福-43 がん検診事業	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務	主管課	市民健康課
		関連課	
総合計画上の位置付け	分野	健康福祉	施策の方針
			市民の健康と安心づくりの推進

1 事業の目的

対象	検診対象年齢に達した市民
意図	がん等の早期発見・治療のため。
効果	がん等の早期発見、早期治療により市民の健康維持に努めるとともに医療費の抑制につなげる。

2 平成27年度に実施した事業の概要

大腸がん、肺がん(40歳以上)、胃がんリスク検診(40歳以上)、子宮頸がん(20歳以上偶数年齢の女性)、乳がん(視触診指導:20歳～38歳の偶数年齢の女性、乳房X線撮影と視触診検診:40歳以上偶数年齢の女性)の検診を実施した。がん検診推進事業として、子宮頸がん(20歳)、乳がん(40歳)、大腸がん(40,45,50,55,60歳)の検診を無料で実施した。(無料クーポン券検診)

3 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算	27年度決算	データ区分	28年度当初予算	備 考
人 口	177,464人	177,243人	人 口	176,869人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
世 帯 数	80,368世帯	80,676世帯	世 帯 数	80,928世帯	
事業の対象者数			事業の対象者数		
決算値(千円)	309,830	412,045	当初予算(千円)	382,509	
国県支出金	6,776	2,098	国県支出金	498	
地方債	0	0	地方債	0	
その他	0	0	その他	0	
一般財源	303,054	409,947	一般財源	382,011	
人員配置数	3.2	2.6	人員配置数	3.6	
人件費(千円)	24,233	20,964	人件費(千円)	28,365	
総事業費(千円)	334,063	433,009	総事業費(千円)	410,874	
市民1人当りの経費(円)	1,882	2,443	市民1人当りの経費(円)	2,323	
対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	1. ある
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	○.負担導入済 ○-1. 既に受益者負担を求めているが、今後、その額や対象等を再検討する必要がある
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施 △-1. 今後、市民等との協働による事業実施に向けた検討が必要である
		協働実施済の場合のパートナー
事業内容の方向性	☐ a: 事業内容を見直す ☒ b: 事業内容は現状通りとする ☐ c: 事業を休止又は廃止する ☐ d: 他事業と統合し、本事業は廃止する	見直しの種類 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他 見直しの内容 事業へ統合
予算規模の方向性	☐ A: 予算規模を拡大する ☒ B: 予算規模は現状維持とする ☐ C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 受診率向上のため、今後は、PSA検診の導入の検討等各種検診の見直しを図り、周知方法についても検討していく。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	市民の利便性を考慮し、8か月間から9か月間へ受診期間を変更した。 他の検診に比べ、極端に受診率が低かった胃がんバリウム検診をより多くの市民に受診してもらい、胃がんの早期発見・早期治療及び予防に繋げるため、少量の採血により身体的負担が少ない胃がんリスク検診に変更した。 市民向けの成人健診の案内に、健診の受け方に関する手順を詳細に説明するなどの見直しを図り、初めて検診を受ける方や受け方がわからないために敬遠していた方の受診への障壁を減らす工夫をした。	

平成27年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	受診率が、横ばいか微減傾向にある。今後は、PSA検診の導入の検討等各種検診の見直しを検討していく。		
課題解決のために行った平成27年度の取組	市役所(検診車)での乳がんマンモグラフィ併用検診の日曜日実施や、受診期間内に健診を受けられなかった方について期間延長を行うなど、受診率アップのための方策を展開した。 また、鎌倉市医師会と協議し、受診者の身体的負担を軽減するがん検診のあり方や手法について、見直しを図り、少量の採血による胃がんリスク検診を導入した。	☐ 解決 ☒ 一部解決 ☐ 未解決	
未解決の課題、新たな課題とその理由	受診しやすい環境を整えるため、検診期間を1か月拡大したが、引き続き、各種検診のあり方等について、見直しを行っていく必要がある。		

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									

比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									

比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方									
----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29		H30	H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									

指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29		H30	H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									

指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29		H30	H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方									
-----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

● 事業に関する特記事項

☐ 第3期基本計画前期実施計画重点事業	☐ 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	---